

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成23年度病害虫発生予察防除情報第11号

大豆、野菜類、花き類のハスモンヨトウの防除対策について

ハスモンヨトウのフェロモントラップ（諫早市）の誘殺量が9月1半旬に増加し、今後、被害の増加が予想されますので下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況等

- (1) フェロモントラップ（諫早市）の誘殺量は、9月1半旬に増加した（図）。
- (2) 9月上旬（9月9日現在）の大豆圃場巡回調査（12筆）の結果、幼虫の寄生株率は13.6%（平年9.8%）とやや高く、株当たり虫数は0.5頭（平年0.5頭）、白変葉発生圃場率は50.0%（平年48.6%）であり、一部多発生している圃場もみられた。
- (3) 気象予報（福岡管区气象台、平成23年9月9日発表）によると、向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

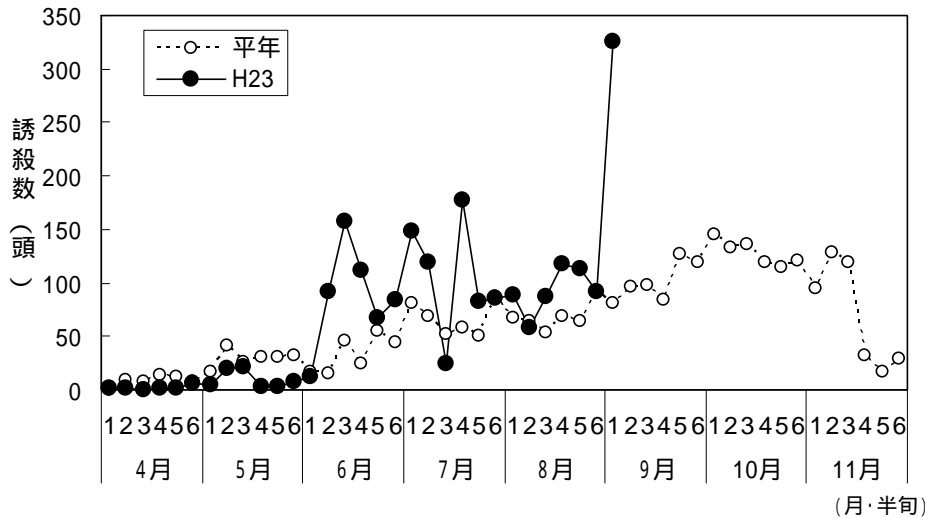


図 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況(諫早市小船越町)

2. 防除対策

- (1) 大豆では圃場の見回りを徹底し、白変葉が散見されるようになったら早急に防除を行う。
- (2) 野菜類、花き類でも同様に、被害が見られたら早急に防除を行う。
- (3) 幼虫は齢が進むと薬剤の効果が低下するので若齢幼虫期に防除を行う。
- (4) 薬剤は虫体によくかかるよう丁寧に散布する。
- (5) 施設栽培では施設開口部を防虫ネット（4mm目以下）で被覆すると、成虫の侵入防止に有効である。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027